

## 令和4年度(2022年度) 第2回 市立吹田サッカースタジアム アドバイザー会議 議事概要

- 1 開催日時 令和5年1月24日(火) 13:30~15:30
- 2 開催場所 Panasonic Stadium Suita (市立吹田サッカースタジアム)
- 3 出席者 本西 泰三委員、松田 雅彦委員、河野 裕一委員
- 4 次第
  - (1) モニタリング評価の手順について
  - (2) 市の評価に対する確認
  - (3) 各委員の評価(指定管理者ヒアリング)
  - (4) 各委員の評価及びコメント等のまとめ

### 5 議事概要

#### 【モニタリング評価の手順について説明・市の評価に対する確認】

委員：サッカー試合観戦者以外の施設利用者に対するニーズ調査について、市としてもどのようにしていくべきか検討するべきではないでしょうか。

事務局：市としても必要であると思っておりますので、指定管理者と連携し、実施方法等について検討いたします。

委員長：評価シートは、他の施設を評価する際のものと同じものを使用しているのですか。

事務局：はい。同じシートを使用しています。

委員：他のスポーツ施設の利用者とスタジアムの利用者はまた違うと思います。  
ここでいう「利用者」「市民」とは何か等、整理をするべきではないでしょうか。  
スタジアムは特殊な施設であるからこそ、スタジアムの運営に合った評価項目の見直しが必要だと思います。

事務局：評価シートについては、各施設の特性に応じて項目の追加等をさせていただいておりますので、頂きました御意見を参考に整理をさせていただきたいと思っております。

「利用者」と「市民」については、興行施設ですので、ガンバ大阪の試合観戦者が主な利用者ではありますが、スタジアムに市民を招いたイベント等も行っております。ただ、そこが評価項目に表れていないため、わかりにくい状況であるかと思っております。そのあたりについては、今後評価項目の整理をしたいと思っておりますが、本日は、後程行う指定管理者へのヒアリングにおいて質問いただき、評価の参考としていただければと思います。

委員長：指定管理者もこのシートを見て行動を変えることになるかと思っておりますので、評価項目への反映をよろしくお願いいたします。例えば、市民の中にはサッカーに関心のない方もいる中で、地域住民に迷惑がかかっていないか等も重要な要素だと思っております。

事務局：実際に試合がおわった後に御意見を頂くこともございます。  
いただきました御意見を参考に、整理させていただきたいと思っております。

委員：吹田市と指定管理者独自のモニタリング評価結果で異なる部分があります。  
評価をする際に、なぜその評価になったのかという根拠についても示す必要があると思っております。この評価項目だけでは、各委員が評価するにあたり、基準がバラバラになってしまうので、一定文言として基準を整理する必要があると思っております。

事務局：市では、スポーツ施設以外の指定管理制度を導入している施設についても全て同じフォーマットを使用しているため、あまりに独自性を盛り込むというのも難しいところではありますが、コメント欄の充実や別紙で対応する等検討いたします。

委員：今すぐにというわけではないですが、市全体で評価シートを見直すタイミング等で整理をお願いできればと思います。

委員：財務状況については、一般的に自己資本比率で言うと、優良企業ということになります。

委員：指定管理料0円の完全な利用料金制で管理運営されていると思っておりますが、もし指定管理料を支払うとした場合、いくらくらいになるものですか。

事務局：年間の維持管理費用が約5～6億円かかります。例えば利用料収入が3億円しか入らないとなれば、約3億円の指定管理料を支払うかたちになるかと思っております。  
実際は完全な利用料金制で行っていますので、条例料金は維持管理に必要な費用に合わせて設定されています。

委員：例えば、今後ガンバ大阪が退くことになった場合はどうなるのですか。

事務局：そこは現在も課題であると認識しています。基本協定書において、指定管理者が更地にして市へ返却となっているため、市がその費用を負担することはありませんが、当スタジアムをホームタウンとして活動するチームを探す等、検討する必要があると思っています。

委員：スタジアムは市の施設なので固定資産税がかかっていないかと思っておりますが、その代わりとってはなんですが、ネーミングライツ料が市に入っているという理解でよろしいで

しょうか。ネーミングライツ料の使い道はどのようになっているのですか。

事務局：ネーミングライツ料の使い道については、積立基金条例において使途が決まっており、サッカースタジアムの利用促進、プロサッカーチームのホームタウン関連施策の推進並びにスポーツ施設及びその環境の整備となっています。

委員：ネーミングライツ料を、部活動のコーディネーターやアドバイザーの費用に充てていただくことも可能でしょうか。

事務局：部活動とは少し違いますが、ホームタウン推進事業の一環として、市内公立の小学校や幼稚園等にガンバ大阪アカデミーコーチが外向き指導を行ったり、総合運動場において、女子中学生のサッカー教室を行っています。

委員：スポーツの振興というところで、サッカー以外の分野においてもアプローチをお願いできればと思います。

委員長：大阪北部地震の際の対応はどのような対応でしたでしょうか。

事務局：観覧席のブロックの落下等の被害がありましたが、指定管理者が修繕を行いました。ただ、市の施設というところで、市にも一定の責任があるのではないかという議論になりまして、大規模災害が起きた場合の半壊に満たない場合は、1億円未満は指定管理者が、1億円を超える部分については、市で対応するという内容に協定書を変更いたしました。

委員長：財政的にも市が責任を持つという一面もあるということですね。大規模修繕費についても指定管理者が負担し積立ているかと思いますが、積立金の状況を教えていただけますか。

事務局：指定管理者が市へ申請し承認している大規模修繕計画に沿って市へ納入され、サッカースタジアム基金へ積立っています。

委員長：工事費が物価高等により上がっている中、大規模修繕費が足りなくなる恐れもあるのではないのでしょうか。

事務局：指定管理者や市の関連部署と連携しながら、定期的で大規模修繕計画の見直しを行っています。

## 【指定管理者へのヒアリング】

委員：部活動のあり方（教員の働き方）というところが課題となっているかと思いますが、自主事業として、市内の学校にコーチを派遣して、部活動の代わりになるような事業を考えていただくことはできないでしょうか。

指定管理者：ネーミングライツ料を活用したホームタウン推進事業の中で、週 2 回放課後の時間帯に、総合運動場において女子中学生を対象としたサッカー教室を行っています。これまでは、高野台中学校を集中校として各学校から生徒が集まり学校の先生が指導していたものですが、令和 2 年度からはホームタウン推進事業の一環として、拠点を市内中部の総合運動場にうつし、新たに女子コーチを雇い実施をしているところです。部活動とは少し違いますが、子供の体力向上のため、年間約 50 回、市内公立の希望する小学校や幼稚園等にガンバ大阪のアカデミーコーチが訪問し指導を行っています。中学校部活動への指導者への派遣については、アカデミースクールの時間帯と部活動の時間が被ってしまうため、難しいと考えています。

委員：サッカーだけではなく、様々な種目で市民という目線で考えていただければと思います。

指定管理者：少し部活動とは違いますが、市内の小学 4 年生をスタジアムへ招く市民ふれあい事業や、市内の幼稚園・保育園児を対象としたスタジアムピッチ体験事業等、ネーミングライツ料を活用し子供に特化した事業をたくさん行っています。

委員：指導者の養成についても考える必要があるかと思いますがいかがですか。

指定管理者：大阪府教育委員会の体育教師で任意団体を作っており、そこにガンバ大阪のコーチが指導に行くという取組も過去に行っております。

委員：他市の学校では、元々部活動の顧問が行っていたコンディショニング研修を生徒会の行事とし、指導者のみ顧問が呼んで行っているところもあります。サッカー等の競技に特化するのではなく、どの競技にも必要となるこのような研修を行うのもよいかと思います。

指定管理者：コロナウイルスの感染拡大でとまってしまったのですが、ある学校に指導者を派遣し、体育会系クラブのキャプテンを対象とした正しいトレーニングの仕方や、マネージャーを対象としたけがをした際の対応方法などの指導も行っていました。トップチームでの経験があるフィジカルコーチがプロのトレーニング方法を指導すると、けがが少なくなった等のお声もいただいています。

委員：吹田市民に返せるかたちでお願いできればと思います。

議長：利用者満足度を高めるための取組について教えていただけますか。

指定管理者：大きく分けて2つ、サッカー観戦で利用される利用者と、試合日以外に諸室等を利用される利用者に分けられますが、毎年、どこか変化を持てるよう努力をしています。

サッカー観戦の利用者に対しては、今年度ビジョンの改修を行っています。オリンピックの仮設会場等で使用されたビジョン用パネルを低価格でリユースできるという話をいただき、大規模修繕計画を前倒しし実施しています。アウェイ側に関しては約2倍の大きさ、ホーム・アウェイ共に高画質となるため、試合観戦の利用者には喜んでいただけたと思います。

諸室等の利用者に関しては、諸室は基本的にいつでも利用していただけるのですが、まだあまり知られていないため、市とも連携して広報に努めたいと思っています。以前に市民アンケートをとった際に、約4%の方しかスタジアムにきたことがないという結果がでました。サッカーに興味がない市民にもっときていただけるような取組、施設の利用促進を行っていきたいと思っています。

議長：利用者の声はどのようなかたちで集められていますか。

指定管理者：各試合実施しているアンケートと、年に1度実施している大規模なアンケートがあります。

議長：どのような意見がございますか。

指定管理者：結果の勝ち負けに関する内容や、駅からスタジアムまでのアクセス、試合後の混雑等について御意見をいただくことが多いです。また、ピッチまでの距離が近く、臨場感があり見やすい等肯定的な意見もいただいています。

議長：大規模なアンケートとはどのようなものですか。

指定管理者：ウェブアンケートだけでは回答率が低くなることもあり、試合日に直接利用者にアンケートを渡しヒアリングしています。

VIP 席利用者用のアンケートも行っていますが、やはり意見として一番多いのはインフラ問題です。

議長：ここに入ってこない方の声をきく機会がありますか。

指定管理者：中々ツールがない状況です。

吹田市が行っている市民意識調査等に入っているスタジアムに関する項目において、サッカーに興味がない市民の方々の意見はそこで確認はできるかと思っています。

委員：市民アンケートにおいて、約4%の方しかスタジアムにきたことがないというところで、その4%をどうあげていけるかというところがポイントだと思います。

指定管理者：市民応援デーにおいてたくさんの子供に会場にいらしている中で、子供も入れるともう少し増えるのかなとは思っていますが、その意見の集約は中々難しい状況です。

議長：ガンバ大阪さんでは確かに難しいかと思いますが、そこは市で検討していただければと思います。他の施設も含め、常に情報共有をしていただくことが重要かと思っています。

指定管理者：サッカーに興味がない方にいかにスタジアムへきてもらえるか、そこがポイントだと思います。

スタジアム内でイベントを実施した際に、外からでは施設が開いているかもわからないということが課題です。例えば、親子がVIPルームを話をする場所として使用してくれてもいいですし、地域のコミュニティの醸成等そういったところを果たせるように、サッカー以外であっても誰でも利用していただけるということをもっと周知できればと思っています。

また、コロナ禍において、自主事業でテレワーク環境を整えました。そういったご利用をしていただく中で、スタジアムは誰でも利用できるということを少しずつでも認知していただくように、市とも連携をして取り組んでいきたいと思っています。

委員：貸借対照表の中の貸付金及び寄附金の内訳について教えてください。

指定管理者：貸付金については、市との基本協定書の中で、指定管理者として決算区分計上をすることとなっているため決算は別で出していますが、決算剰余金については、チームガンバ大阪と一本にしており、譲渡ではなく貸付金という形態をとっています。寄附については、スタジアム自体が市の建物のため、備品の購入や芝生の張替え等市の財産となる部分については、市へ寄附しています。

議長：貸付金について、区分経理はしていますが、運営としては実際チームガンバ大阪と一体ということですね。

指定管理者：大規模修繕費についてですが、47年6か月の指定管理期間の中で、約54億円の積立を行う計画となっており、ピークが2億円近いお金を積立てなければならない中

で、現在は決算差額がこれだけでありますが、数年先になりますとここまでは出ないであろうという状況です。

今年度につきましては、海外チームとの親善試合や、初めてコンサートを開催したことから、コロナ禍に比べ売り上げが上がっております。

委員：コンサートについて、シーズン中に行うことはやはり難しいですか。

指定管理者：シーズン中につきましては基本的に難しいです。今年度はワールドカップの影響で10月に2週間ほど試合がないということがあらかじめわかっており、実施後の芝の張替えにかかる期間等も含め、全ての条件が重なり実施することができました。また、シーズン中の日程が半年ごとにしか確定しないことや、国際試合等の開催があることから事前にスケジュールを抑えることが難しい状況です。

委員：コンサートの収支はどうでしたか。

指定管理者：芝生の張替え等を含め黒字でした。

サッカーはもちろんですが、コンサート等の大きなイベント、また、市民の利用促進についてこの3つの柱として行っていきたいと思っています。

議長：J2に落ちてそのまま上がれない可能性もある中で、そのあたりはどのようにお考えでしょうか。

指定管理者：やはりお金の面でいっても、J1とJ2では全然違います。観客数については、コロナ禍前の2019年では平均約27,000人でしたが、J2になると恐らく約15,000人まで落ちると思われます。チケット収入等が落ちる中で、J2はチーム数も多く試合数が増えるため、サッカー以外の事業が今以上に実施しづらくなります。人員の削減等が起きると活動領域も狭くなってしまいますので、そこは絶対に回避しなければならない一番の課題だと思っています。コロナ禍である昨年度の観客数平均が約15,000人で、J2に落ちた場合の決算としてはこのようなかたちかなというイメージはもっていますが、大規模修繕費の積立てやサッカークラブ自体が厳しくなるだろうとは思っています。

議長：物価等が上がってきている中で、大規模修繕積立計画の見直しの予定はございますか。

指定管理者：見直しについてはその都度行うのではなく、計画の中でどの時期にどんな修繕を行うのかは決まっていますので、実際行う際に見積りを取り、優先順位等考えながら詳細については精査をする予定です。金額が上がってきている中どのようにしていくかは業者と連携をとっており、2025年の修繕に向けては準備を進めているところ

です。

議長：修繕をお願いするとしたら竹中工務店になるのですか。

指定管理者：基本的には、まずは建設工事に携わり現場を熟知している竹中工務店に連絡し、そこから適宜対応しております。また、オリンピックで使用されたビジョンをリユースして半額以下の値段でビジョンの改修ができてるように、大きなイベント等で数回のみ使用して廃棄になる機材の利活用等も行い、コストを抑えていければと思っています。

委員：SDGsについても評価の基準に入れてみてはどうかと思いましたが、いかがでしょうか。

指定管理者：SDGsの取組についてはJリーグでも行っていますが、スタジアムでは、太陽光発電や雨水の再利用等を行っており、運営費の削減にも繋がっております。

ガンバ大阪としてもSDGsのプロジェクトチームも作り、年に一度SDGsマッチデーという試合も設けています。

飲食店で使用するプラスチックのコップを専用の機械に入れると、堆肥化して肥料となり土にかえる紙コップを試験的に使用も行っています。今年は、フォーク・スプーンが土にかえるように、後はペットボトルをユニフォームの素材にする等様々な取組を行っています。

委員：今後も引き続き様々な事業に取り組んでいただき、安定した経営に努めていただければと思います。